

3類型	鉱工業品	通巻番号	2-27-013
地域資源名	鶴岡シルク	認定日	平成28年2月3日
地域	山形県鶴岡市	所管省庁	経済産業省

事業名：産地間連携による新たな鶴岡シルク製品の開発と販路拡大 及びブランド化の取組み

会社名：鶴岡シルク株式会社（法人番号5390001008453）所在地：山形県鶴岡市大宝寺日本国223-5

連絡先：TEL：0235-29-1607
FAX：0235-29-1608

H P：http://www.t-silk.co.jp

事業概要（地域産業資源の活用）

鶴岡市の地域産業資源「鶴岡シルク」と木綿や麻、ウールなどの織物産地が連携し、お互いの素材や技術と知恵を融合させたコラボ商品を開発＆販売。多様な消費者ニーズに応えることで、国内織物産地の活路を拓く21世紀型ビジネスにチャレンジし、産地間のWin-Winな関係を築く。※キビソ：蚕が繭をつくる時最初に吐き出す糸。



▲
生糸



▲
キビソ(※)

ロゴマーク



(samurai silk)

ロゴマーク



【地域産業資源鶴岡シルク】



【大好評だった「ミラノ博覧会」】



【老舗百貨店企画展】

新たな需要の開拓の見通し（市場性、販路、商品の特性）

◆市場性

平成27年10月のミラノ博に「鶴岡シルク」が世界デビューし、おしゃれなストールやバッグ、帽子、日傘など Made in JAPANのシルクがミラノっ娘に大人気となった。これで海外展開に大きな自信がついた。国内有名百貨店の企画展でも、1日20万円の売上予定が50万円の日がでるなど大成功し、鶴岡シルクの知名度を上げた。

◆需要の開拓の方針

- ①百貨店などの企画催事に積極的に参加し、そこから常設コーナー展開などの新たなビジネスチャンスをつかむ。
- ②ホームページの多言語化とネットショップの充実で、海外へも情報発信し、代理店展開などでの更なる販路拡大を図る。

◆商品の特性

女性層のおしゃれセンスに応えるコラボ商品ならではのデザインや風合いで希少性が高く、競合品との差別化を図れる。その結果、国内外のシルク商品に対して競争力ある商品になっている。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

年間600万人の観光客が訪れ、歴史と文化の創造都市・鶴岡市は「鶴岡シルクタウンプロジェクト」を立ち上げ、ふるさと納税の返礼品への採用や「ふるさと応援宣言」への取組みなど全市を挙げて応援をしている。

上述に加えて、地元映画館や温泉旅館では、館内に「鶴岡シルクコーナー」を設け、PRに協力している。

更に、地元小中学生の蚕飼育体験や、女子高校生によるシルクドレス発表会「シルクガールズコレクション」も、毎年、市民からも好評である。



【商品サンプル】